

日本を美しくする会を丁寧に着ていただいて、まことに有り難うございます。

経済的な尺度で測れば、全く価値が認められないトイレ掃除の活動を、皆様が丹念に守ってくださったお蔭で、多くの人々に理解されるようになりました。

そして、皆様のひたむきな行いによって、荒れた学校が更生したり、組織や地域が活性化した好例が出現し、この力が偉大であることが証明されました。

発足して十余年を経た今、経済とは異なった視点で見ると、トイレ掃除には数値では表すことのできない高い意義があります。その高い意義とは、人の心の栄養になるということです。

作家・藤沢周平氏が、「飯の糧にならないことが、心の糧になる」と説いています。

今の日本は、「飯の糧」つまり、自分にとって都合の良いことや有利なこと、利益に結びつくことばかり求めて来たために、心の栄養が乏しくなりました。そのために社会が荒れ、人の心も貧しくなる一方となりました。

日本を美しくする会の活動は、「心の糧・心の栄養」となるものです。

この活動を通して、自らの心を養うだけでなく、多くの人びとの心を清澄にし、豊かにして参りましょう。